

2 主要な事業の状況

(1)「みんなのまち」への市民自治づくり

地域公共交通整備事業

⇒ 28,685千円

(担当:市民課)

市民、事業者、行政等で構成する大竹市地域公共交通活性化協議会で策定する「大竹市地域公共交通総合連携計画」に基づき事業を展開します。

本年度は、幹線及び一部の支線について実証運行を行います。また、既存の坂上線、大竹・栗谷線、広原・谷和タクシー助成事業などについても、地域の皆さんと一緒に考えながら、より効率的・効果的な公共交通の整備と利用促進を推進していきます。

地域不法投棄対策事業

⇒ 2,776千円

(担当:環境整備課)

地域の快適な生活環境を守るため、地域住民や警察と連携し不法投棄防止の活動に向けての取組みを行います。不法投棄防止にむけた広報啓発活動や監視パトロール、不法投棄廃棄物処理などを実施します。

公園環境美化推進事業

⇒ 473千円

(担当:都市計画課)

自治会などの協力による地域の公園の清掃美化活動を支援するため、活動に必要な物品の支給、備品の貸し出しを行います。また、活動を通じて、地域コミュニティを推進し、きれいで見通しがよく安全な公園の環境整備を図ります。

拡充

市民活動支援事業

⇒ 300千円

(担当:地域振興課)

市民の市政への参画を促進し、その知識や経験を活用することにより、市民の満足度を高めるとともに、市民活動の自主性の向上を図るため、市民活動団体が地域課題解決のため自ら提案・実施する事業に対して支援を行います。事業を公募し、審査の結果採択された事業に対して助成金を交付します。

平成21年度より経営基盤の弱い立ち上げ初期の団体の成長・自立を支援する助成金と、既存団体の活動の拡大・発展を支援する助成金の2つの助成メニューにより実施します。

自主防災組織の育成指導事業

⇒ 630千円

(担当:総務課)

現在、23の自主防災組織が結成されていますが、組織をより充実させ、市民の防災への意識を高めるとともに、地域の活性化を図るため、新設・既設の自主防災組織に対し、防災活動に必要な不可欠な資機材の整備・防災訓練への助成などを実施します。

応急手当等の普及啓発事業

⇒ 267千円

(担当:消防本部)

市民に正しい応急手当、AEDの使用方法および設置場所、救命等の知識を広めるため、一般市民を対象とした救命講習を実施します。また、ボランティア団体の協力を得て救命講習をPRします。なお平成21年度は心肺蘇生法練習用のマネキン（シミュレーター機能付）を更新します。

コミュニティづくり推進事

⇒ 2,960千円

(担当:市民課)

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。

また、「コイ・こい・フェスティバル」の開催を支援するとともに、市民発信型の事業運営をめざした取り組みを進めます。